

人 輝く・安芸高田



あきたかた

議会だより

おき た なお こ

今回の題字は、**沖田尚子**さん（川根小学校6年生）です。



学習発表会



たて割り班でのお花見給食



運動会で地域と一緒に盆踊り



全校合唱

凜



地域に学ぶ「刈田っ子」 刈田小学校

6月定例会2~5
常任委員会報告6~8

25年度政務活動費17

一問一答
14人が**市政を問う**9~16

あんなこんな
地域のかがやき20

第42号

2014(平成26)年8月1日発行

不同意

4人
13人

賛成
反対

副市長人事

副市長空席

6月定例会

6月定例会を6月13日～27日までの会期で開催しました。

総務企画常任委員会へ1議案、文教厚生常任委員会へ1議案を付託し、すべて原案のとおり賛成多数で可決しました。（各常任委員会審査は6～8ページに掲載）

本定例会において、承認2件・議案6件について、いずれも原案のとおり可決しました。

一般質問では、14人が市政を問いました。（9～16ページに掲載）

諮問（2件）

- 人権擁護委員の推薦
田邊 裕子さん
甲田町上甲立
津賀山一幸さん
吉田町吉田

承認

同意（2件）

- 公平委員会委員の選任
泉 憲始さん
高宮町来女木

同意

- 副市長の選任
芦田 宏治さん
吉田町吉田

賛成

- 石飛、先川、宍戸、金行

反対

- 玉重、玉井、久保、下岡、前重、兎玉、大下、水戸、熊高、山本、秋田、藤井、青原

不同意



安芸高田市議会 意見書提出

集団的自衛権の行使容認を行わないこと

■発議（5件）

○憲法解釈の変更に
よる集団的自衛権の
行使容認を行わない
ことを求める意見書
について

■質疑

熊高 提案理由の再
度十分な説明を。

石飛 日本の国際社
会における平和の希
求の役割を変えては
ならない。

玉重 同盟国との関
係は。

石飛 P K O（平和
維持活動）で対応。

■討論

■反対

■賛成

熊高 大切な問題
だ。継続的に国の動
向を見守りたい。

■採決

■賛成

玉井、久保、下岡、
石飛、先川、熊高、
穴戸、山本、秋田、
金行

■反対

玉重、前重、児玉、
大下、水戸、藤井、
青原

賛成多数



○地方財政の充実・
強化を求める意見書
について

■質疑

玉重 最終的に国民
の負担が増すが。

穴戸 国民負担を伴
う過剰な財源ではな
く、安定的な財源を
望むもの。

■採決

■賛成

玉井、久保、下岡、
前重、石飛、児玉、
先川、熊高、大下、
水戸、穴戸、山本、
秋田、藤井、青原、
金行

■反対

玉重

賛成多数

○安芸高田市議会委
員会条例の一部を改
正する条例

全員賛成

○ウイルス性肝炎患
者に対する医療費助
成の拡充を求める意
見書について

全員賛成

○教育予算を増額
し、義務教育費国庫
負担制度の堅持を求
める意見書について

全員賛成

条例の一部改正

承認第1号

税条例等の一部を改正する条例

【要点】軽自動車税の引上げと地方人税の創設に伴う法人市民税の所得割額の税率の引下げ。

■質疑

金行・熊高・石飛

軽自動車税の引上げは。市民への影響もあるので資料提供が必要では。

小笠原市民部長

市民への影響は大。資料提供のもと十分周知する。

承認

議案第51号

火災予防条例の一部を改正する条例

【要点】主催者に対し、多数の者の集合の催しでは、消火器の設置を義務づけ。大規模な催しは、防火担当者の専任、火災予防上必要な業務の計画作成等を義務付ける。

■質疑

熊高 本市で該当する催しは。

久保消防長 多数の者の集合の催しとは、面識のない方など外部から多数来られる夏祭りなどである。大規模な催しは、本市では該当がない。

全員賛成

(付議された案件)

専決処分した事件の承認について2件

○承認第1号 税条例等の一部を改正する条例

【自動車税の改訂等】

○承認第2号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例

【介護納付金課税限度額等の引上げ・低所得世帯への軽減措置】

条例関係(3件)

(新たな条例制定又は廃止・条例の一部改正など)

○議案第49号 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

【総務企画へ付託】

○議案第50号 固定資産評価員の設置に関する条例

【文教厚生へ付託】

○議案第51号 火災予防条例の一部を改正する条例

【祭り等の防火管理】

事業・予算関係(3件)

○議案第52号 26年度 一般会計補正予算(第1号)

○議案第53号 26年度 国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

○議案第54号 26年度 介護保険特別会計補正予算(第1号)

補正予算

補正予算額9514万円増
(一般会計総額 201億1514万円)

可決

がんばる地域交付金 (地域活性化・効果実感臨時交付金) 事業費6221万円

- ・ 通学路対策工事 1180万円
- ・ 市道舗装工事 2000万円
- ・ イルカクラブ屋根改修工事 1050万円
- ・ 中央保健センター下水道接続工事 1991万円



市道舗装工事 (主な予定地)

舗装される市道ゆずりは線 (八千代町)



通学路対策工事

拡張される高地長屋線 (甲田町)

議案第54号

26年度介護保険特別会計補正予算(第1号)

【要点】包括支援事業において、人事異動による人件費の増額。

■質疑

熊高 人事異動の目的と状況は。

沖野総務部長 当初退職者一名減で予算組み。退職者の代わりに一名の配置のため増額。

熊高 職務の内容は変わらないのか。
中元福祉保健部長 変わらない。

全員賛成

総務企画常任委員会

6月定例会で付託された議案1件を、6月23日に委員会を開き慎重に審査しました。

(主な審査)

○特別職の職員で非常勤のもの、報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

委員長
副委員長
委員

山本 優
石飛 慶久
玉重 輝吉
水戸 眞悟
熊高 昌三
塚本 近

地域包括ケア推進協議会を設置

新設

○委員報酬 → 日額 7,000円

【概要】

地域包括ケアシステム（介護・医療・予防・住まい・生活支援等のサービスが切れ目なく提供できる体制）の構築に向け、体制の整備計画の策定等を協議する。



鳥獣被害対策実施隊を設置

新設

業務内容

これまでの捕獲班体制に加え新たに設置。

○捕獲活動

平日のみを活動日として緊急対応が必要な捕獲依頼にこたえる。

○被害特定活動

鳥獣の知識の高い専門家により、被害対策のアドバイス等を行う。

○鳥獣被害対策実施隊員報酬

その1 捕獲活動

→日額8,000円を超えない範囲内で市長が別に定める額

その2 被害特定活動

→時間当たり1,200円



実施隊委嘱状交付式

石飛 捕獲活動と被害特定活動では、活動内容の危険度が違うが、どう考えているのか。
猪掛地域営農課長
捕獲活動は日額とし、被害特定活動は現地に出向し、被害防止の助言や捕獲活動につなげていく作業のため、時間当たりの額としている。それぞれ活動内容等の危険度等を鑑みて定めている。

質疑

「行政嘱託員」・「行政嘱託補助員」報酬

改定

①平成27年1月1日～ 報酬3,000円→2,700円へ

②平成27年4月1日～ 報酬2,700円→2,000円へ減額

お太助フォン利活用により、配布物の数量および回数を減らす（月2回から月1回へ）ことに伴い、報酬額を改める。

文教厚生常任委員会

6月定例会で付託された議案1件を、6月20日に委員会を開き慎重に審査しました。

(主な審査)

○安芸高田市固定資産評価員の設置に関する条例

(所管事務調査)

○国民健康保険の現状について

○学力向上対策について

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 児玉史則 |
| 副委員長 | 前重昌敬 |
| 委員 | 玉井直子 |
| | 下岡多美枝 |
| | 青原敏治 |
| | 金行哲昭 |

固定資産評価員の設置に関する条例

概要

これまで議会の同意をもって固定資産評価員を選任していたが、実務内容から税務課長が最も適しているため、新たに条例で定めるもの。

■質疑

金行 固定資産評価員の資格は。新たに講習や研修の受講が必要か。

中山税務課長 固定資産の評価に携わる職員はすでに必要な講習等を受講しているため、新たに受講する必要はない。

陳情

「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情書」

〔陳情者〕 全国B型肝炎訴訟原告団・弁護団

〔要旨〕 次の件につき国に対し意見書の提出を求めるもの。

- ・ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること。
- ・身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすること。

「教育予算を増額し義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書提出に関する陳情」

〔陳情者〕 広島県教職員組合安芸高田支区

〔要旨〕 次の件につき国に対し意見書の提出を求めるもの。

- ・教育の自治体間格差を生じさせないために、義務教育費国庫負担制度について国庫負担率を2分の1に復元することを含め、制度を堅持すること。
- ・学校施設整備費、就学援助・奨学金、学校・通学路の安全対策など、教育予算の充実のための地方交付税を含む国の予算を拡充すること。

〔審査の経過〕 上記の2件の陳情は委員会で採択し、諸手続きを経て関係機関（国）へ意見書を提出することとしました。

「要支援者を介護予防給付から外すことに反対する陳情書」については、介護保険法の改正がなされる方向にあるため、制度改正の状況をみながら今後検討することで、委員会としては不採択とした。

国民健康保険 今年度、税率アップなし

産業建設常任委員会

6月定例会で付託された議案はなく、6月24日に委員会を開き所管の事務について調査しました。

(所管事務調査)

○安芸高田市の農業の課題と担い手の農業経営の現状について

○道の駅の進捗状況と今後の計画について

委員長 大下正幸
副委員長 穴戸邦夫
委員 久保慶子
先川和幸
秋田雅朝
藤井昌之

現地調査

安芸高田市の農業の課題 担い手の農業経営の現状は



現地調査風景



青ネギ水耕栽培施設

6月24日、市内の現状を知るために委員会で、ひろほく農考会（会員44名）の一員で、クリーンカルチャーグループの代表でもある廣政公一さんの水耕ネギハウス（吉田町）を訪ねました。

廣政さんは平成15年に会社員を辞め、クリーンカルチャー甲田農場で研修、平成16年ハウス水耕栽培の施設を整備。平成17年から青ネギの水耕栽培に取り組む農業青年です。

グループ内で引退する農業者の施設の引き受けなど規模拡大を図り、現在は水耕栽培施設1.8haの経営をされています。

また、地域の農地を守るため10haの水稲経営、露地野菜にも取り組まれています。

平成25年からクリーンカルチャーグループ会長、JA広島北部野菜部会副会長を務めておられます。

市内の現状は、24の農業生産法人、23の営農組合があります。3ha以上の担い手は79人となっています。

これからも市内の現状を把握しつつ、調査研究をし、施策に反映できるよう委員会として努めます。

道の駅の進捗状況と今後の計画は

平成26年3月国土交通省と安芸高田市が「道の駅」の設置に関する協定書を締結した。現在人に優しい「ノーバック駐車」や「地域防災の充実に強化」等の機能を持った「道の駅」として検討を進めており、当初の予定より遅れているとの報告を受けた。

14人が 一問一答 市政を問う



下岡多美枝
(無所属)

下岡 AEDが一般市民に使用可能になって10年。中心部から離れた集会所や多目的グラウンドには未設置もあるが、設置の検討は。
市長 本市は広大な面積を抱えているため困難である。

下岡 AEDの有効活用策は。
市長 貸し出しはあるが、AEDを過信せず市民で支え合う仕組みづくりをする。

下岡 中山間地域の救命率の向上に、ファーストレスポンス制度（消防機関から十分な訓練を受けた市民が応急手当

AED

中心部から離れた場所のAEDの配置の検討は
市長／本市は広大な面積を抱えているので困難

を行う体制）の導入は。

市長 メリットとデメリットをあわせて研究したい。

下岡 本市の若年女性の流出の実態と施策は。

市長 若年女性の減少率が大きい「雇用の創出」「地域経済の活性化」も重要で、行政だけでなく官民の有識を結集して総合的視点から今後の政策を検討する。



公共施設等に設置されているAED

財産相続の相談を受ける仕組みは

高齢者対策

市長／高齢者支援センターでの窓口を検討



宍戸 邦夫 (無所属)

宍戸 高齢者が多い中、財産等の相続・贈与等に関して、具体的に相談を受ける仕組みがでないか。
市長 高齢者支援センターにおいて、相談を受け、助言を

行っている。

高齢者支援センターが、高齢者の方の身近な総合相談窓口となるよう取り組みを進める。

宍戸 市民主権の自治を進めるために、自治基本条例を制定してはどうか。
市長 基本条例の制定は、最高規範とも

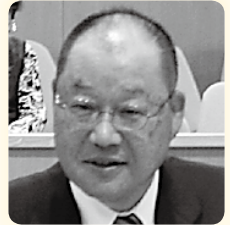
なるべき条例で、慎重に対処すべきと考えている。

宍戸 食生活改善のための活動拠点の整備を強く望まれているが。

市長 活動に支障のないように、引き続き早い時期に検討していきたい。



財産相続など対策は早めに！



熊高 昌三 (無所属)

熊高 ドクターヘリの現状は。
市長 利用についての啓発が必要と考えている。また、ヘリポートの利便性拡大を要望していく。

熊高 安芸高田市総合計画へ、経済が地域内で循環する視点が必要ではないか。
市長 計画策定の大部分となる課題に大きく関わりがあり、計画の中で示して行きたい。

熊高 地籍調査の現状は。
市長 69・2%が完了している。調査地区の選定見直しも行いながら、早期完了

ドクターヘリ

利活用の現状は

市長／ヘリによる搬送は16件

を目指す。
熊高 道徳教育に対し具体的はどう取り組むか。
教育長 文科省が全面改定した「わたしたちの道徳」を活用し充実を図っている。また、市独自に現在編集している副読本を活用し、地域に愛着と誇りが持てる心を養い、さらに道徳心を伸ばしていきたい。



ドクターヘリと救急車の連携による搬送訓練

久保 河川敷がシカのすみかになっている。市の管理ではないが、草刈り等管理が現状で足りているか。

市長 近年江の川河川敷がシカ等のすみかとなっていることは承知している。堤防は、国交省が年2回、市道兼用堤防は市が年2回除草作業を実施。治水を目的とし、有害鳥獣対策を目的としたものではない。



シカのすみかになっている河川敷

有害鳥獣対策

シカのすみかになっている河川敷の草管理は市長／処分に協力してもらえるように、国交省に要望していきたい



久保 慶子 (無所属)

久保 草刈り作業について、地域が作業協力した時、草の処分等に協力依頼はできないか。

市長 国交省の除草作業と合えば、処分について対応の余地はある。作業時期に関係なく処分に協力してもらえるように国交省に要望していきたい。

先川 急激な人口減少が進行する中、その対策としての企業立地の推進状況は。

市長 平成19年企業立地奨励条例を制定し、その適用を受けた企業は4社である。今後光ネット



先川 和幸 (無所属)

人口減少

対策としての企業立地は

市長／ふるさと応援の会の人脈など活用

ワーク整備済等本市の優位性をさらにPRし、また「ふるさと応援の会」の人脈等を活用し、さらなる推進を図る。

また、現在操業している企業についても存続できるよう、税制面等の改善策も検討する。

先川 最重点課題である空き家対策は。

市長 現在空き家は約2300戸ある。今年度は新たに「空き家対策専門員」を配置し、所有者の意向を密に確認し、空き家を活用した定住促進を推進し、人口減少に歯止めをかけたいと考えている。



20年後の人口構成

国道

一般国道433改良促進

市長／改良要望を行う



水戸 眞悟

(絆)

の検証整理に立脚した将来ビジョン策定が不可欠であるが所信は。
市長 成果と課題の整理は総合計画策定作業と並行して進める。評価指数としては事務事業評価で捉

える。反省を踏まえ今後とも自助・共助を育むと共に民間活力に期待する。

水戸 保育所再編計画の進捗状況、また閉所予定の市立ひまわり保育所の積極的有効活用策は。

市長 統合に関わる諸課題や施設改修案等を保護者会とともに協議している。ひまわり保育所の活用は総合的に検討する。

水戸 新総合計画策定に当り、その根幹となる過去の成果と課題・地域計画の達成率・市民満足度等

市長 現在、県の改良計画はないが、北広島町とも協議・検討の上連携して改良促進の要望を行う。



国道433号線の現状

水道事業

統合に向けての課題解決は

市長／各給水区間の整備を検討



秋田 雅朝

(政友会)

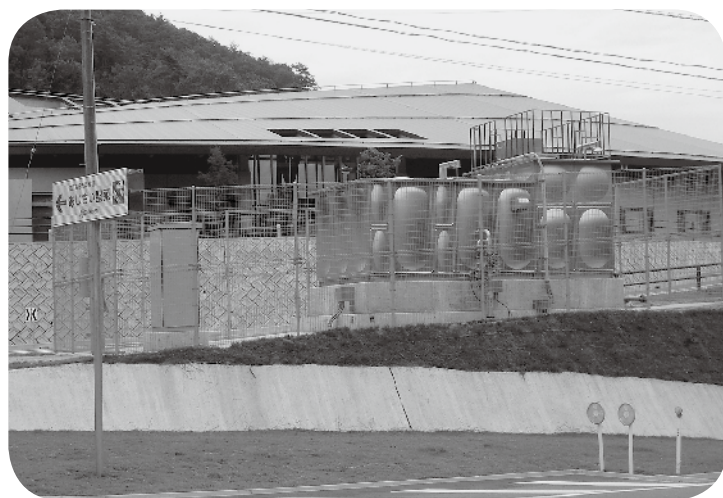
秋田 水道事業について28年度末に統合が予定されているが、未給水区域の解消、連絡管工事等の今後の見解は。
市長 未給水区では水源の調査、水量の確保に努める。安定

的な水の供給を目的に連絡管の工事を行っているが、今後は、簡易水道事業の統合による経営健全化を図り、市内各給水区間の整備について検討する。

秋田 人口減による財政運営の影響は、財源の構造的な縮小となり今後の政策縮

減に繋がると考えるが。

市長 今後の収支がマイナスになる予想から、改善方策が必要と考える。そのために「公共施設等総合管理計画」を策定し、その確実な実行により、人口減少にも対応できる財政基盤の確立を目指したい。



吉田から美土里・高宮への給水のため設置された横田中継ポンプ所（26年3月完成）

大下 北部分駐所は昼間のみの運営をされているが、夜間は時間がかかるので不安だとの声の中、人命第一の考えで24時間の運用はできないか。

市長 人命というの



大下 正幸
(あきの会)

救急搬送

北部分駐所の充実について

市長/地域の安全は考えていく



望まれる北部分駐所の24時間対応

は大事だが、救急搬送をどういう状況で呼んでいるのか、タクシーがわりなのか、本当に困っているのかということ进行分析しながら、状況によってはまた方向性も考えていきたい。

地域の安全は守っていないかなければいけないので、しっかりと考えていきたい。

藤井 行政の指導・監督が怠慢でなかったか、その責任・処分はどのように考えておられるか。

総務部長 実務的な

藤井 23年度以降の精算行為は行われるのか。

福祉保健部長 委託料の精算は契約書通り整理する。

市長 委託契約事務手続きの説明責任を果たす観点からお願いしたが、結果については真摯に受け止めるか。



藤井 昌之
(無所属)



特別監査が行われた行政の委託契約事務

特別監査の結果出る

特別監査の結果をどう受け止める
市長・管理職の責任は、処分は
総務部長/結果は真摯に受け止めています。
市長は自らの判断、一般職は分限処分

事務の欠落が見られたことも事実。責任・処分については職員に懲戒処分等の指針に基づき検討していく。市長については自ら決められるべき内容であると思う。

計画 スポーツ振興計画、今後は

教育長／まずは、安芸高田市教育振興基本計画を策定



前重 昌敬 (絆)

前重 これまでの成果及び評価は。教育長 サッカー、ハンドボール、アーチェリー等のスポーツ振興が旧町単位であったものが、全市的規模に推進できるようになった。

前重 今後、この計画の見直しは。教育長 8月に広島県スポーツ推進計画策定予定で、県の動向、市総合計画等を踏まえ、実効性のある計画に仕上げました、総合型スポーツクラブの取り組み、理念というものを考慮し見直しを進めていきたい。

前重 今後の位置づけは。教育長 スポーツ振興計画等を、教育振興基本計画に盛り込む。



見直しが進む市スポーツ振興計画



青原 敏治 (あきの会)

青原 地域間格差について、どのように思われるか。

市長 合併するにあたり、6町の速やかな一体化を推進するため、吉田町を「タウンセンター」として位置付け、周辺の地域とを太助ワゴン等で結び、生活の利便性や快適性の確保を図ってきた。上下水道や住宅等、生活基盤の整備についても、地域間格差の是正に努める必要があると考えて事業を実施している。

地域間格差

旧町単位での格差は 市長／一体化の推進



整備計画が凍結されている八千代支所

金行 今年度より合併特例加算の減額が始まり、財政健全化対策が必要と考えるが。

市長 財政推計では今年度は3億2千万円、来年度約9億6千万円の減額あり。行政改革推進実施計画を推進し更なる行政改革に取り組んでいく。公共施設等総合管理計画を策定し実行しスリム化を図っていく。



金行 哲昭
(政友会)

合併 10 年

合併10年を迎えて課題は

市長／新たな将来ビジョンで第2次総合計画を

金行 地方自治の役割である、団体自治の組織運営の具体的な計画が必要。たとえば生活基盤、山林計



合併 10 年今後の課題は

画、企業誘致など考えるが。

市長 長期ビジョンとなる第2次安芸高田市総合計画を策定中であり、生活基盤や企業誘致、山林計画等も総合計画の中に盛り込んでいく。

生活インフラ

生活者重視の道づくりは

市長／利便・安全性を確保した都市環境づくりを目指す



石飛 慶久
(無所属)

石飛 市街地の集積を維持しないと、公共施設整備の維持に支障が出ると思われる。その対応は。

市長 効率的な行政を遂行するため、集中した居住と機能の集約等コンパクトシ



歩道のある道

ティの形成が不可欠。

石飛 住民に即応した歩行者の利便、安全確保の環境整備が必要であると考えている。

市長 多大な投資が必要となる。

石飛 社会整備交付

金は、住民が喜ぶ使途になっているか。

市長 安住に配慮した事業を取り入れている。

その他の質問

○広域連携について
○公共資産光ファイバー網の利用促進について

職員

早期退職者の増加について

市長／極めて個人的理由
でやむなく承認



玉重 輝吉
(無所属)

玉重 近年、早期退職者が増加しているが。

市長 過去5年間で、定年退職者55人に対して、早期退職者が52人であり、割合が高いと認識している。親や家族の介護、次にやりたいことへの挑戦等、極めて個人的理由でやむなく承認してきた。

時に退職されることは、市にとって大変なマイナスと考えるが。市長 やめると言われる人を残すというのが美徳ではない。

市民の方々にもやめる者を残さんでええと言う方もたくさんおられ、やる気のない者を無理やり残しても、マイナスになる。ただ、本人の事情はしっかりと受け止めてあげたい。

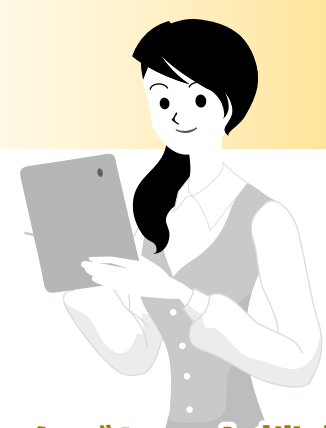
その他の質問
○安芸高田市の人材育成について



人材育成の結果？

インターネット議会中継開始！ (ユーストリーム配信)

視聴者数 1,500人 (平成26年7月7日現在)



ケータイやタブレット端末でも視聴できます。

※お太助フォンでは見られません。

【視聴方法】

市ホームページ
↓
市議会
↓
議会中継



【今後の予定】 9月上旬～平成26年第3回定例会

25年度 政務活動費

15人が活用 292万円支出
(537万円交付 245万円返還)

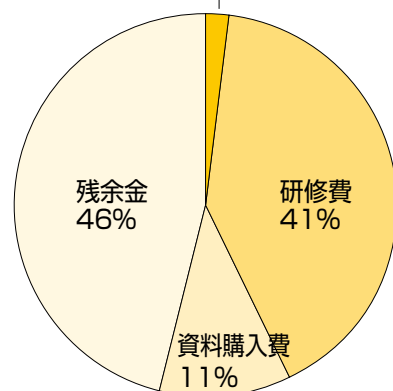
政務活動費収支実績報告（議員合計額）

個人ごとの政務活動費支出額

項目	金額(円)	内容	
収入(交付金)	5,370,000	1人月額3万円(年間交付上限36万円)が交付されます。超えた政務活動費は自己負担	
支	調査研究費	102,788	議員が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
	研修費	2,211,967	議員が研修会を開催するために必要な経費及び団体等が開催する研修会の参加に要する経費
	資料購入費	601,473	議員が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費
	資料作成費	860	議員が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
	広報費	0	議員が行う活動及び市政について住民に報告するために要する経費
	広聴費	0	議員が行う住民からの市政及び議員の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費
	要請・陳情活動費	0	議員が要請及び陳情活動を行うために必要な経費
	会議費	0	議員が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への議員の参加に要する経費
	合計	2,917,088	
残余额(返還額)	2,452,912	残余额は返還しなければなりません	

	議員氏名	支出額
1	玉重 輝吉	申請なし
2	玉井 直子	360,000
3	久保 慶子	360,000
4	下岡 多美枝	119,000
5	前重 昌敬	313,038
6	石飛 慶久	申請なし
7	児玉 史則	0
8	大下 正幸	37,800
9	水戸 眞悟	88,205
10	先川 和幸	82,589
11	熊高 昌三	145,196
12	穴戸 邦夫	申請なし
13	山本 優	297,753
14	秋田 雅朝	240,756
15	藤井 昌之	304,555
16	青原 敏治	122,814
17	金行 哲昭	253,640
18	塚本 近	191,742
	合計	2,917,088

調査研究費 2% 【主な支出割合】



ホームページをご覧ください。政務活動費を使用した視察や研修などの報告書を掲載しています。

安芸高田市議会議員研修会開催 議会は変わる！



平成26年6月4日(水)
13:30～

安芸高田市議会
第1委員会室

研修目的

議会の一層の活性化を目指し議会改革・改善を行うための一つとして、議会基本条例の制定を目指す中で、議員一人ひとりの意思統一を図る必要があるとの考えから、先進事例を研究する。

演題 「議会基本条例について」

講師 山口県防府市議会議会改革推進協議会
会長 田中 健次氏

研修成果

議会基本条例制定の経過とその役割について説明を受け、住民自治の根幹をなし住民の意思を代表する機関として、議会の重要性を再認識するとともに、議会の役割を明確にした基本条例の必要性について、議員一人ひとり改めて確認することができた。

全国・中国市議会議長会 議員表彰

- 全国市議会議長会表彰 金 行 哲 昭
- 中国市議会議長会表彰 塚 本 近 熊 高 昌 三 秋 田 雅 朝

議会のうごき 26年4月～6月の議会の活動状況

月	日	曜日	会議等の名称	会議の主な要旨
4	09・15・21		議会広報特別委員会	議会だより第41号の編集・校正
	15・21		議会運営委員会	議会基本条例、議会報告会について
	21	月	全員協議会	26年度議会報告会について
5	15	木	議会運営委員会	26年第2回定例会の運営、議会基本条例
	19	月	総務企画常任委員会	所管部局の事務分掌等の調査
	20	火	全員協議会	議員研修会の実施、26年度議会報告会
	20	火	文教厚生常任委員会	所管部局の事務分掌等の調査
	27	火	産業建設常任委員会	所管部局の事務分掌等の調査
6	4	水	全員協議会（議員研修会）	議会改革に関する研修会
	6	金	議会運営委員会	26年第2回定例会の運営、議会基本条例
	13	金	第2回定例会（開会）	議案の上程、委員会付託
	17～18		第2回定例会（一般質問）	質問者14人
	19	木	全員協議会	26年度議会報告会、議員研修まとめ
	20	金	文教厚生常任委員会	付託議案の審査、陳情等審査、市長報告
	23	月	総務企画常任委員会	付託議案の審査、市長報告
	24	火	産業建設常任委員会	所管事務調査（現地調査）、市長報告
	26	木	議会運営委員会	26年第2回定例会の運営、議会基本条例
	27	金	第2回定例会（閉会）	委員長報告、議案の採決

■26第3回定例会は9月に開催を予定しています。

※詳細は、お太助フォンや市のホームページ、通知公報でお知らせいたします。

芸北広域きれいセンターからのお知らせ TEL 0826-72-6595

きれいセンターは、毎月第1日曜日（5月と1月を除く）を開場しています。

（一般家庭に限ります。会社や商店のごみは、持ち込みできません。）

時間は、通常と同じ
午前9～12時
午後1～4時までです

開場する 日曜日	平成26年				平成27年		
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	7日	5日	2日	7日	×	1日	1日

地域のかがやき

吉田 ホテルかご作りで つながる世代間交流



竹原地区地域住民交流会 (6月14日)

八千代 地域で盛り上げる



佐々井ホテルまつり (6月14日)

美土里 地域とのふれあい



第8回たんぼぼ祭 (6月29日)

高宮 歌声でつながる地域の和



結成7年!和気あいあいと練習
船木ゆめコーラス

甲田 五穀豊穡



今年も賑わう 大土山田楽大花田植 (6月1日)

向原 書作展



やすらぎ (7月10日~31日)

編集後記

安芸高田市が発足して10年が経過しました。この10年間を振り返って皆様はどのように感じてもらえますか。

人口減少、超高齢化社会、消費税増税、激変する国際情勢と、日本を取り巻く現状は厳しくなる一方です。そんな中、市の将来像である「人輝く 安芸高田」になっていると感じられているでしょうか。

どんな状況におかれても、皆様の笑顔が絶えない光景が市全体で見られる事が、「人輝く」と捉え、議会として、今後のまちづくりにまい進していきまします。そして、議会だよりを通じて、市民の皆様方に喜んでいただける報告を届けたいと思えます。

(玉重輝吉)

〈発行責任者〉

議長 塚本 近

〈議会広報特別委員会〉

委員長 石飛 慶久
副委員長 穴戸 邦夫
委員 玉井 直子
玉重 輝吉
久保 慶子
前重 昌敬

